

登録コード	HM129300	開講年度	2026			
授業題目	法医遺伝子学特論				担当教員	原山 雄太 他
英文授業名	Forensic Genetics				副担当	
単位数	2	講義期間	不定期	曜日・時限	集中・不定期	対象学生
講義室			授業形態	講義	備考	
信大コンピテンシー	該当					
(1)授業の達成目標/Course objectives	ディプロマポリシー・授業で得られる「学位授与の方針」要素				⇔	(授業の達成目標)
	2026HM医学分野初, 2025HM医学分野初, 2024HM医学分野初, 2023HM医学分野初					
	【専攻】医学または保健学の研究に対する世界標準の専門分野における深い知識・卓越した技能				⇔	法医学分野において行われるDNA鑑定について説明できるようになる。
(2)詳細/Detailed information	法医学分野におけるDNA鑑定は、犯罪捜査、大規模災害時における個人識別、民事裁判における親子鑑定など様々な分野で用いられている。DNA多型を用いた個人識別・親子鑑定について理解を深めることを目的とする。					
(3)授業の概要/Overview of course	遺伝子解析技術が法医学においてどのように活用されているかを学び、遺伝子解析と法医学の関連について理解し、説明できるようにする。					
(4)授業計画/Course plan	第1回 遺伝的多型形質 第2回 DNA多型の分類 第3回 DNA多型の生成 第4-7回 親子鑑定 第8回 犯罪捜査とDNA鑑定 第9回 血痕検査 第10-11回 物体検査 第12-14回 歯牙鑑定 第15回 個人識別の現状と課題					
(5)成績評価の方法・基準/Grading/evaluation method/evaluation criteria	・成績評価の方法 毎回の小テスト50%、レポート課題50%を評価の基準とする。 小テストの内容は毎回の授業内容から出題する。 レポート課題については、授業の内容について1題を選定し提出を求める。 ・成績評価の基準 小テスト（50%）およびレポート課題（50%）の配分比率で合計したものを点数に換算し、最終評点とする。評価の基準は、90-100点：秀、80-89点：優、70-79点：良、60-69点：可、60点未満：不可とする。					
(6)履修上の注意・事前事後学習の内容・テキスト・教材・参考書/Notes/Prep and review work/Textbook(s)/Reference work(s)	教科書：南山堂「法医学」改訂4版 監修：福島弘文、編集：船山真人、齊藤一之（P222-288）を熟読した上で、授業で提示したスライド等を理解すること。					
(7)質問,相談への対応/Questions and requests for advice	随時質問を受け付ける。教室への来訪も可。					
(8)授業の形式/Course format	授業・スライド提示・プリントの配布等。					